

鳥取県三朝温泉は、開湯 850 年を迎えています。
三朝町では開湯 850 年を記念して、温泉と温泉街の良さを楽しんでいただけるよう様々な企画を実施しています。
本プレスリリースでは、三朝の温泉と町の魅力をお伝えいたします。

2015 年 3 月

報道関係各位

三朝の町に、癒しの音が誕生！

世界初!?!の製法で作り上げる 本格竹製バイオリンが完成！！



四方を山に囲まれた三朝温泉は静かな町です。静寂に包まれた中でこそ感じることができる、川の流れと風の音、鳥の鳴き声や虫の音、子供たちのはしゃぐ声など、多くの自然の音が心地よく響き渡ります。

2013 年、三朝町に新しい音源として「三朝バイオリン美術館」が誕生しました。館長の岡野壮人氏は国内外屈指のバイオリン職人。元美術館だった建築物を、スタッフ全員で改装に取り組み、国内でも珍しいバイオリンだけの博物館としてリニューアルオープンされました。

バイオリンの制作工程や、弦の素材である馬の尻尾、カエデなどバイオリンのボディ用木材などが展示されています。また、2階のホールでは毎月 10 回以上の演奏会を開催し、温泉街のお客様をはじめ町民に音の時間を提供し、バイオリンの魅力を一瞥的に聴覚的に表現されています。

さらにこの度、岡野館長がかねてから描いてきたテーマ“三朝町とバイオリンの融合”を形にした新進のバイオリンが完成しました。それは、三朝町の“竹”で作られた世界にひとつだけの竹製バイオリンです。竹の硬さや気密性などの特徴を生かしたバイオリンは、そのボディの木肌の美しさはさることながら独特の音の響きが最高の作品に仕上がりました。竹のようにまっすぐな音は、日本の童謡など和の音楽がとても似合います。

「三朝バイオリン美術館」では、その貴重なバイオリンのお披露目を兼ねた演奏会を開催いたします。



＜竹製バイオリン完成までのストーリー＞

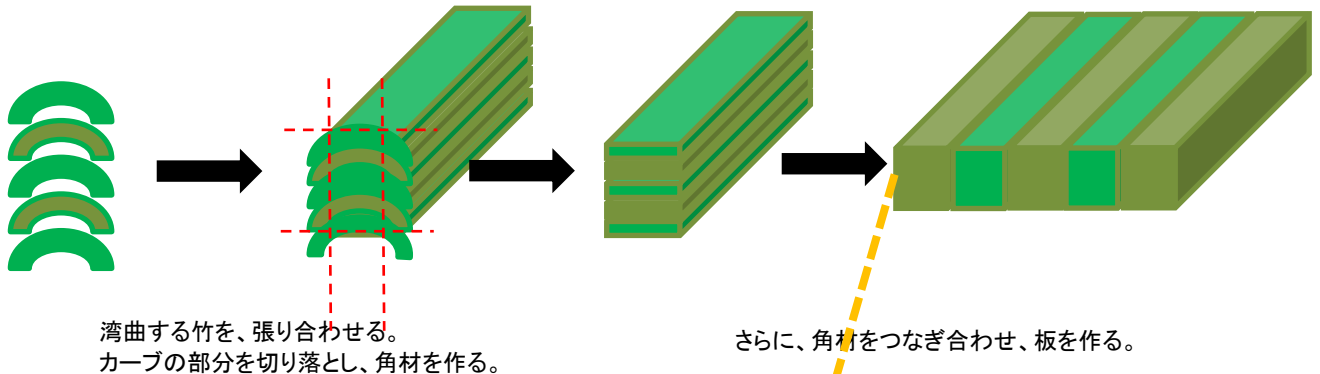
岡野館長は、「音楽との出会いによって人生の道筋がたち、音楽で救われた」という思いから音楽をより多くの人々に広めていきたいと考え、自身の出身地である鳥取にアトリエを構え、県内外での音楽の普及に努めてきました。そして、2013年に三朝町との縁により、「三朝バイオリン美術館」を開館しました。

従来絵画や工芸品を展示する美術館であった建物をスタッフ全員で協力しながら日々改修し、同館の特徴である大きな三角屋根の特性を生かした立派な音楽サロンとして再生させたのでした。「何かをやるには様々な難題があるが、私は全てに挑戦していく。」と語る岡野館長、「その挑戦のひとつの結果として生まれたのが、竹製のバイオリンです。」音楽を普及させる要は、音楽がその地になじむこと。そのために、「三朝バイオリン美術館」を再生し積極的に演奏会を開催してきました。そしてさらに、「三朝発の音楽を！」と考え、地元産の竹を材料としたバイオリンを製作に挑戦することとなりました。

竹を原料としたバイオリン製作の実例はなく、全ての作業が岡野館長の経験値とイメージから想像されたオリジナルの製法です。作業工程で、何度も強度や響きを確認しながら、ようやく1台のバイオリンを完成することができました。美術館裏から竹を切り出し、乾燥させ角材にし、本格的なバイオリンに仕上げるまでおおよそ1年かかりました。

＜竹製バイオリンを構成する板の構造＞

*バイオリンの材料として、主に表板にはマツ、裏板にはカエデなどが使用されています。全面を竹で製作することは世界でも珍しいことです。



<コンサートスケジュール>

【竹製バイオリンコンサート情報】

- タイトル： 竹のバイオリンの音を聴くコンサート
- 期日： 2015年3月16日(月)・21日(土) 11:00～ 約45分間 (入場は、10:30～)
- 演奏者： 生原幸太(三朝バイオリン美術館音楽監督)
- 入場料： 一般1,000円 (障がいのある方/80歳以上の方800円)
- お客様からのお問い合わせ先：三朝バイオリン美術館 TEL.0858-43-3111
(URL:<http://misasavm.com/>)

【三朝バイオリン美術館 概要】

所在地： 〒682-0123 鳥取県東伯郡三朝町三朝 199-1 TEL : 0858-43-3111/FAX : 0858-43-3133
開館： 10:00～18:00 (休館日：毎週火曜日)
入館料： ¥200(一般)/¥100(高校生以下) ※平成27年4月1日より ¥500(一般)/¥250(高校生以下)

★「三朝バイオリン美術館」館長 岡野 壮人 プロフィール

- 1981年 鳥取県倉吉市で生まれる。
- 1995年 バイオリン製作に興味を持ちバイオリン奏法を学び始める。
- 2000年 日本初のバイオリン・マイスター無量塔蔵六主宰の東京ヴァイオリン製作学校入学。
- 2004年 卒業。無量塔蔵六(ムラタゾウロク)の下、楽器製作に専念する。
- 2006年 プロイス弦楽器マイスター工房に勤める。
ストラディヴァリウスの修復を手掛ける Andreas Preuss の下、楽器製作、修理、修復の技術を学ぶ
2007年、2008年の夏、フランスにて研修を積む。
- 2009年 鳥取にてアトリエを構える。
- 2010年 鳥取県内にて弦楽普及活動を行う。
岡野バイオリン教室 開校。
- 2011年 「三朝バイオリン美術館」の工房に、ヴァイオリン製作学校
Tottori Violin Making School*を 開校
- 2013年 7月より、三朝バイオリン美術館館長に就任。三朝を弦楽器の
聖地とすることを目指し、音楽で喜びを分かち合える環境づくりに
情熱を燃やしている。



<本件に関するお問い合わせ先>

三朝バイオリン美術館 開館時間 10:00～18:00 休館日：火曜日
TEL.0858-43-3111 E-mail: misasamuseum@icloud.com

《三朝温泉概要》

三朝温泉の由来は、850 年前に遡る。大久保左馬之祐という侍が、年老いた白い狼に出会い、一度は弓で射ようと思いますが、思いとどまり見逃してあげることに。その夜、左馬之祐の夢に妙見大菩薩が現れて、白狼を助けたお礼に温泉の場所を教えてくださいました。その温泉が今の三朝温泉で、町の一角にある「株湯」と呼ばれる楠の古木の根本から湧き出る源泉が元湯とされています。当時、村人の病を治すと伝わり、湯治に来ては「三たび朝を迎えると元気になる」との評判から「三朝温泉」と呼ばれるようになりました。



三朝のお湯は、ラドンを含むラジウム温泉で、国内の4大ラジウム温泉の一つに挙げられます。古くから健康に良いと評判の三朝温泉は、各方面から注目されてきました。現代では、岡山大学病院が三朝医療センターを設け、ラジウム温泉の効能を様々な知見から検証して学会でも発表されています。また、同センターの協力で、健康と温泉を組み合わせたプランを作り「三朝温泉現代湯治」としてご利用いただいています。

※三朝温泉の効能

呼吸器系、消化器系疾患、リウマチ、神経痛、高血圧症、糖尿病、痛風、動脈硬化症、アトピー性皮膚炎、婦人病、冷え症、など

※三朝温泉の特徴：ホルミシス効果

三朝温泉は、お湯に浸かったり飲んだりする他、温泉の湯気を吸いこむことによって自然治癒力や新陳代謝などを高める効果があるとされています。(ホルミシス効果) 現代湯治のメニューにも組み込まれる他、「鉱泥湿布」などが開発され、温泉に浸からなくても療養できることも注目されています。

《三朝温泉開湯 850 年記念事業》

三朝町では、開湯 850 年を記念して、三朝温泉の新たな魅力を創造し、より広くご紹介するために、「六感を癒す旅」をテーマに、様々なプロモーションを展開しています。

視(観)覚・聴覚・触覚・味覚・香(嗅)覚の五感を癒し、訪れる方々の心の隅々まで癒されたい。そんな気持ちを込めました。



《三朝温泉の楽しみ方》

観+聴・・・心癒される三朝「音泉」

「三朝バイオリン美術館」で、音泉をお楽しみください。

触・・・三朝の歴史・伝統に触れる

三朝では、温泉に纏わる歴史や伝統に触れることができます。町中では、三朝の伝統行事である「陣所の綱引き」の資料館や、スマートボールや射的など懐かしい娯楽があります。また、三朝を代表する陶芸「白狼焼き」や、草木染の木綿糸で織る「みささ織」などの体験ができます。 問合せ先：三朝温泉観光協会(TEL:0858-43-0431)

味・・・鳥取の冬は海の幸が絶品

カニをはじめとする日本海の海の幸をご堪能ください。



香・・・三朝温泉の潤いを自宅へ

三朝温泉の源泉を 100% 詰め込んだ化粧水は、優れた保湿作用にリピーターも続出です。

また、保湿成分配合の石鹸や薬用入浴剤もおすすめです。



写真

左上：白狼焼き

右上：松葉がにのお料理(イメージ)

左下：三朝みすと